
令和7年度第4回大山町総合計画審議会

令和7年10月21日（火曜日） 午後2時から午後3時40分
大山町役場 本庁舎2階 第2・3会議室

会議次第

1 開会

2 あいさつ

3 議事

【審議事項】

(1) 第三次大山町総合計画基本計画（案）

4 その他

5 閉会

出席者

1 審議会委員（出席委員13人）

林田徹	大山町P T A連絡協議会 会長
西田菜々子	中山みどりの森保育園愛育会 会長
提嶋真知子	大山町人権・同和教育推進協議会
押村行史	大山町社会福祉協議会 事務局長
福留茂樹	鳥取西部農業協同組合 中山支所支所長
佐々木淳	大山森林組合 総務課長
杵村義夫	鳥取県漁業協同組合御来屋支所 支所長
山根均	大山町商工会 会長
陶山友文	大山町消防団 団長
金田結花	大山町青年団 団長
荒金恵美子	大山町民生児童委員協議会 大山支部副支部長
門脇明子	町民委員
本間唯	町民委員

審議会委員（欠席委員6人）

清見久夫	大山町老人クラブ連合会 会長
足立敏雄	大山町観光協会 会長
松本将治	大山町建設業協議会 会長
松信多榮子	大山町女性団体連絡協議会 会長
菰田レエ也	鳥取大学地域学部 講師
加藤禎久	鳥取環境大学環境学部 准教授

2 事務局職員

山 根 篤 大	大山町 地方創生監
金 田 弘 美	大山町総合戦略課 課長
西 村 浩	大山町総合戦略課 主任
橋 本 久 恵	大山町総合戦略課 会計年度任用職員

午後2時開会

次第1 開会

○事務局 それでは定刻になりましたので、ただいまから第7年度第4回大山町総合計画審議会を開会いたします。開会に当たりまして、山根会長からご挨拶いただきます。

次第2 あいさつ

○会長 今回は4回目です。急に寒くなってきましたので、体調崩されないように気をつけて生活していただきたいと思います。今回も指名いたしますので、マイクを持っていきますのでお願ひいたします。では始めさせていただきます。

次第3 議事

○事務局 それでは議事に移りたいと思います。以降の議事は、山根会長に進行をお願いいたします。

第三次大山町総合計画基本計画（案）について

○会長 では、総合計画基本計画の本日は施策19から33について審議をしますので、事務局から説明をお願いします。

○事務局 失礼します。総合戦略課の西村と申します。本日もどうぞよろしくお願ひいたします。では、座って説明させていただきます。

（基本計画案資料に沿って説明）

○会長 施策19から順番に審議していきますが、意見がある方は手を挙げていただければと思います。また振り返ってもらって結構ですが、無いようです。建物、住まいとあるんですが、死んだときの墓はどうでしょうか。あれは寺に任せればいいかな。ということで、ふつと感じました。続きまして、施策20「次世代のために土地や建物を管理し、有効に使おう」ということで、ご意見ありますか。ワーキング・グループ会議で見直していただいてるので、大分なく

なっているとは思いますが、後からあればお願ひします。はい、お願ひします。

○委員 施策 20 の主要指標ですけれど、もしデータがあれば、空き家の活用率とか、現状どれだけ空き家があって、どれだけ移住者が使っているとか、他のものに使われているものが加わっていると、より現状が分かりやすいと思いました。

○会長 登録率は、どこかにあったような気がするけど、事務局どうですか。

○事務局 施策 20 で上げさせていただいている指標で、空き家バンクの登録数というのはありますか、今まで登録された空き家がどれだけマッチングしたか、利用されるようになったかというのは、担当課にデータが拾えるかどうかで検討させていただきたいと思います。

○会長 はい。ありがとうございます。施策 20 を終わりまして、施策 21、交通インフラですが、これは完成されている感じですか。足し加える意見があれば、お願ひしたいと思いますが、いいですか。施策 22 「安全で快適な交通環境を実現しよう」ということですが、これは人口減少に向かっておりますので、いろいろと悩ましいところですが、はい、どうぞ。お願ひします。

○委員 64 ページ、主要指標のところ、予約型交通の利用者数が当初値は 8,913 人、目標値はかなり高い 15,000 人になっていることについて質問します。現状と課題に、料金の高さや路線便数の少なさが課題で、より使ってもらえるように検討されると書いてはあります。私も利用した人から現状と課題に書いてあるようなことを耳にすることがあります、大変高い目標値だと思いました。何か目標値を上げるための具体的な対策とか見通しは、ここに表れてないような気がしますので、その辺をお聞きしたいと思います。

○会長 目標値、特にありますか。

○事務局 先に回答してしまうと、担当課がどういった考え方で 15,000 人なのか、今把握ができるないというのが正直なところです。皆さんもご承知のとおり、大山町内で足がないことは大きな課題であると、そこにデマンドバスという手法を用いて、移動に困らない環境をつくるという気持ちの表れだとと思っているんですけども、昨年度か今年度からか、料金を見直し、乗降できる場所も増やして、町内どこでも利用ができるというサービスへの拡充という取組を始めているところだったと思います。この当初値の基準日が今すぐ出てこないですけれど、その時点で既に拡充されたサービスだったのか、拡充される前の数値だったのか、確認しようと思います。そういうところを踏まえて、どのように転換すれば倍増するということは、正直なかなか見通せないところがあるかと思いますけれども、取組を進めているということで、ひとまず回答させていただきます。

○委員 ありがとうございました。すみません。サービスの拡充をしておられるということを私も知らなかつたので。

○会長 ありがとうございました。はい。どうぞ。

○委員 デマンドバスのことですけども、私は佐摩に住んでいますが、定期バスは本当に少なくなって、一人暮らしの人とか、高齢者の方は本当に困っておられたんです。旧町をまたぐと、例えば旧大山町から旧名和町・旧中山町に行くと、すごく金額が高くなってしまって行かれないと言っていたんです。今年からは、長田から大山診療所に来るのも、100 円で来れるようになりました。この 15,000 人という数値をどういうふうに出したのか知らないんですけど、年寄りの方とか一人暮らしの車のない方は助かっておられて、すごく頻度が増えたと思います。

○会長 ますます便利が悪くなってくるんじゃないかなと危惧はされますけれど、100 円は安い

ですよね。そのうちライドシェアなんかもあるかもしれない。では、続きまして、施策 23、上下水道についてご意見ありますか。今のところ管理ですよね。穴があいて車が落ちたということがありましたけど、日本全国のいろんなところであったみたいで、そういう心配はありますが、取りあえず今は充足しているということでしょうか。では、施策 24「安定した情報通信環境を維持しよう」です。私もあり詳しくないんですが 5Gとか、今の容量が大丈夫かとか、いろいろ聞くくんですが、ご意見ありますか。ご意見がなかつたら、次に施策 25、ごみの件です。「町内のごみを減らし、資源環境の輪をつなげよう」ということで、ご意見があればお願ひします。無いようですので、施策 26「みんなが地域に気を配り、もしもに備えよう」ということで、犯罪を未然に防ぐためですから、カメラとかの補助もあるようですし、ご意見がありましたらお願ひします。ないようでしたら、今の施策 26まででいかがでしょうか。全部終わってからでも結構ですので、ご意見をいただきたいと思います。では、続きまして施策 27から 30まで、事務局お願ひします。

○事務局 はい。失礼します。続きまして、施策 27から 30についてご説明をいたします。資料は 73 ページからです。

(基本計画案資料に沿って説明)

○会長 施策 27「大山町の魅力や暮らしやすさにつながる土地利用を実現しよう」ということです。これについてのご意見がありますか。ないようですね。続きまして、施策 28「目の前のかけがえのない風景を守り、自然の力を活かそう」ということです。これも若干施策名に修正が入っております。特にご意見がないようです。そうしましたら、施策 29「脱炭素社会を実現し地球温暖化の抑制に貢献しよう」です。意見があんまり出ないですが、早いですか、大丈夫ですか。ここにも主要指標がありますけど、CO₂ の量をどうやって測ってるのかよく分からないんですけど、さっきの目標値もそうですけど、理解しにくいので、データをどうやってとったか、たぶん CO₂ の量は推計値だろうと思うんですけども、どういった推計値かということも若干説明があると納得しやすいのかなと思います。データをもとにするとということになると、みんなも頭に入りやすいのかなという気がします。施策 29 は、ご意見がないようですね。そうしましたら、81 ページ「豊かな自然を活用し、大山の恵みと共生するまちを続けよう」ということで、CO₂ 削減とつながっていて、緑を切るとかそういうのがないほうがいいというのがあるから、そういうのも意義的にはいろいろと重なってるんでしょうけど、山が太陽光発電で大分木が切られて、大山の上から見ると、キラキラしたところがいっぱいできたと思って、必要なものなのかもしれないけど、何とかならないのかなと思っています。大山町は何年前か水不足で、タイ米を入れてどうのこうのということがあったときがありましたけど、大山町は最終的には水が少し不足したみたいですが、木が結構あるから、特にブナ林とか保水性が高いらしいので、この大山山系は割と水不足にはなかったように聞いております。しかしながら、今言いましたように、太陽光発電パネルが、ものすごく目立つようになってきたので、少し心配をしております。大山町ばかりではないんですけど、種原の山も今はまだ太陽光パネルが張られていないんですけど、完全に木がなくなつて、パネルがあるとすごく目立つと思うんです。

○委員 あれは植えられるでしょう。大山道路にナラ枯れが結構あって、薬を注入していて、森

林組合の人が松くい虫はヘリコプターで定期的に防除されて、ナラ枯れもしてるけど結構枯れるんですよね。それで緑がなくなっていますよね。森林組合の人も分かっておられると思う。そればかりじゃなくて自然の被害も結構あります。

○会長 確かに。そのところはご存知ですか。大分効果があるんでやってるんでしょうけども。

○委員 ここ何年か作業をさせてもらって、被害も落ちついたというふうに見ているところで、ナラ枯れの対策事業も今年で一区切りということになったようですので、あとは、今後枯れたところをどうするか町と検討することになっていくかと思っています。

○会長 ナラばかりでなくして、この頃山の木がものすごく枯れていますね。酸性雨じゃないかなという気はするんですけども、そんな研究もしたことないから、勝手なことは言えませんが、ナラ枯れのあるところは、結局オオタカとか野鳥とか守られている区域が多いから、ヘリコプターとかで散布ができないんですね。だから、人間の手でやるしかないから、今言われたように大分速度が鈍ってきたようですから、枯れたから鈍ったというところもあるんですけど。はい、どうぞ。

○委員 82 ページ、施策 30 の取組方針 2 の①を直される前はどういう文言でしたか。1 行目の自然の恵みは「何でもある大山町」という言葉がどうかなと思って、「豊富にある」とか、他の表現のほうがいいような気がします。

○会長 何でもあるという、そこの直しはどうですか。

○事務局 お待たせしました。前回の審議会でご覧いただいたものと、「アウトドアライフの考え方の普及や実践方法など暮らしにおける関わり方を発信していきます。」という内容でした。

○会長 引っかかるのは「何でもある」という文言だけですよね。ということで、また検討してください。はい、どうぞ。

○委員 施策 28 ですけども、前々回の会議のときも農業用の水路の管理のことが出てたと思うんですけど、そのときも感じていたのは、中山間に住んで水路を作業する人と下流域に住んでいて、それがイメージできない人との乖離がすごいあると私は思っていました。もともとの出身もすごく田舎だし、今も中山間に住んでるので感じているんですけど、全国的にも熊が増えとか、農地が勝手に売買されてソーラーパネルに変わるとか、結構問題になっていると思うんですけども、農地とか山林を守り続けている人の立場や気持ちが、こういう計画にはあまり表れないとすごい思っているんです。例えば、ソーラーパネルとか風力発電のために土地を売ってしまった人の気持ちが私には分からないんですけども、これから管理していくことの重みみたいなのものを、その人だけが背負わされてるような感覚になりました。毎週のように違う水路の担当で作業に出ないといけない実情があって、子どもがいる世帯だったら、子どもの行事と重なったらどうするかとか、おじいさんおばあさんがいなかつたら、誰が出るかというようなやりとりをずっとする立場からすると、そこに住んでとは言わないんですけども、中山間が荒れてしまうことの意味を、町とか下流域に住んでる方は、もう少し知っていたらいいのかもしれないと思います。常日頃、最近ニュースを見ながらも感じているところで、中山間直接支払とみどりの作業ルートのことなのかもしれないけど、主要指標にある数値として、そのお金が払われてることが書かれてますけども、この目標値に達してたとしても、おそらくすごく無理が生じてて、いろんな人がいろんなところの水路の管理にも共同で出たり、会社のスタッフまで導入してやってますけども、これが維持できる間もおそらく長くないなど日々

感じています。町民意識のところでも、「継続推進」ところに星がついてるので、継続推進の意見が多かったのかもしれないんですけど、おそらくこの先は長くないと思っているので、そういうことが文章なりに表れる箇所があってももいいかなと思いました。以上です。

○会長 すごくよく分かります。文言を入れるようにお願いしましょう。

○事務局 補足させていただきたいと思います。おそらく水路の話は農業施策のほうにも通ずるし、こういったところにも通ずるし、ということで前回ご議論いただいたところを踏まえまして、次の目標の施策 31 の現状と課題に課題感として入れさせていただきました。前回は集落活動として、農業に関わらず水路清掃をするんだということで、3 行目に「水路清掃や集落内の情報共有などに見られるように集落機能の維持が困難になりつつあり」という課題を入れさせていただいておりますけれども、ここだけでは十分ではない実情というも確かにあります。前回の審議会でいただいた意見をひとまず反映をさせていただいたという補足です。

○会長 はい。そういう意見があったことをワーキング・グループ会議に相談してみてください。取りあえず施策 30 までですが、また振り返っても結構ですから、進めていきたいと思います。次は、施策 31 から 33 です。事務局お願いします。

○事務局 はい。失礼します。施策 31 から 33 について主な修正点、ご説明させていただきます。

(基本計画案資料に沿って説明)

○会長 施策 31 「地域住民の思いや力を發揮できる環境をつくろう」ということで、水路清掃とありますけど、この近年の自然環境というか自然破壊というか、人間が壊したという部分もあるんですが、温暖化やら何やらの脅威が非常に強くなっています。例えば、私が住んでるところも水路を越えて水が流れるもんですから、水路ががたがたになって、清掃どころではなくて、工事の段階だと言ってるんですけど、なかなかこれも修繕ができないような状況もあります。近年の自然の脅威による水路破壊の面もあるというところを、念頭に入れて相談をしていただければと思います。ということで、私は意見を言いましたけど、他にございませんか。次に、施策 32 「まちに関わり交わる人の力を活かせる環境をつくろう」です。はい、どうぞ。

○委員 前々回に気づけばよかったです、施策 32 の名称を見る限り、学術連携だけではないのかなと読み取れます。そう思うと、今大山町が企業といろいろ連携をしてますよね、環境省から地方創生監がいらっしゃっていることも書いてあれば、町民としてどういう方のサポートを受けるような体制にあるのか分かるのでいいなと思いました。すごく大幅な修正になるかもしれませんけど、検討していただけるとうれしいです。

○会長 はい、ありがとうございます。検討してもらいたいと思います。以上でいいですか。施策 33 になります。「異なる文化を理解し、尊重する、学びあいのまちをめざそう」です。

○委員 前回の会議を欠席してたので、一応会議録も読んだんですけど、90 ページの取組方針 2 「交流のきっかけを大切にする」と直された経緯をお話ししてくださったんですけど、意味がよく分からなかったです。それで、この文を読んでも交流のきっかけを大切にするということがよく分からないです。私なりに考えてみたことをお話ししようと思うんですが、意見が出てこういうふうに直されたってことですよね。

○会長 意見が出たのもあるし、ワーキング・グループ会議で積み上げていきますから、どちら

から出たのか分かりませんが、どちらにしても修正や新しく文言が増えたところが赤い色になっています。

○委員 きっかけを大切にするという辺りが、分かりにくいとと思いますが、どうでしょうか、皆さん。

○委員 交流のきっかけをつくることを大切にするとか、主要指標を見ると、こういった交流をしてますよ、ということなのかと思ったりします。アメリカとか韓国とか、あるいは沖縄とか、こういったきっかけを大切にしましょうという意味なのかなと自分は思いました。

○会長 なるほど。それで意味が通りますか。

○事務局 すいません。補足させていただきます。ワーキング・グループ会議からご意見をいたしました。取組方針2が赤字なので、一つ加わった修正ですけれども、この赤字がない状態ですと、町が行っている国内交流であったり国際交流のテメキュラ、襄陽郡とか、嘉手納町とかの事業のみの施策だったところです。そこに対して、町内で起きている外国文化との交流というのは、町の事業に限ったことではないんじゃないかと、例えば、民間同士でやっているハワイの野球交流というのも町が関わらずにやっていらっしゃる、そういう取組が増えしていくといいのではないかというご意見でした。そのときのご提案が、草の根で活動されているとか、何かふとしたときにできたきっかけがここまで広がってきてているとか、きっかけを大切にしていけるような地域をめざしてほしいというような表現でして、具体的に大山町として支援ができるかといったら、現状難しいところがありますが、姿勢としては、町が主体となってやる以外にも民間や住民さん同士の交流を支えていけるような地域を守っていくべきであろうといったニュアンスを表現するのに、少し言葉足らずだったかなというところがあるんですけれども、そういった経過で入っている取組方針になっております。

○会長 これは行政側から見る民間の交流のきっかけを大切にしようという行政側から見る言い方になってるのかな。

○委員 今の説明でよく分かりました。ささいなきっかけという言葉の表現が誤解を招くような感じで、ほかの言葉がいいかと思いました。私も異なる文化に触れる機会は、特に大山町がしておられるようなことももちろんあるし、今紹介のあった民間で地道にやっていらっしゃる団体の活動もあるんですが、日常的に外国から働く人材として来ていらっしゃるような実習生の方と公共施設で出会ったりすることもあります。例えば、子供たちも通学途中に出会ったりすることもあると思うんです。だから、そういう面も全てを見て、異なる文化とか人たちと、文化交流するというかお互いを知り合うことで学び合いができる、そういう次代の人材育成をめざすと施策の目的にも書いてあります。大山町内にも、観光客に限らず労働者としてもいろんな方がどんどん入ってこられるし、国際結婚だってこれからどんどん増えていくかもしれない」とすると、髪の色が違うとか、目の色が違うとか、違う言葉を話しているということを、例えば子ども視点で考えてみると、私たちが日常触れないような人たちと触れたり、いろんな価値観に触れたりする中で、お互いの存在を尊重し合って、お互いに学び合う、そういうすばらしい大山町をめざすという意味も、この施策には含まれていると思うんです。異なる文化と触れ合うことは、自分の知らないものを排除するんじやなくて、受け入れる利他の精神のようなものにつながることになるんじゃないかなと思うんです。そうすると、いろんな人と出会い、そして次代の人材の育成として、いろんな経験を積んでほしいと思うんです。その中で利他の

精神を育めば、どこに行っても住みやすい大山町、住みやすい地域をイメージしたいと、次代の人材育成という視点で、教育的な視点もあるかもしれないんですけど、住みやすい地域づくりつながるような文言もあるといいのかなと思ったところです。以上です。

○会長 言い回しもあるだろうから、検討していただくということで、皆さんのご意見がありますか。おっしゃったことに関しても結構ですが、全体を通してでも、何でも結構です。

○委員 全体を通して主要指標の数字は令和7年度の数字ですか。

○事務局 指標に関しては、直近で取れる数値をとっているので、大部分が令和6年度のものですけれども、中には5年度、4年度というものがあって、あえて当初値の年度は計画上に書いておりません。

○委員 後で書き加えられるんですか。90ページの主要指標の数字は、令和7年度の沖縄県嘉手納町は、この人数でした。今年、16名募集したところを12人しか応募がなかったので、これは令和7年度の数字だなと思って拝見してましたけど、それが書いてないといつの数字なのか分かりにくいので、全ての指標に加えていただいたほうがいいのではないかと思いました。

○会長 はい。どうぞ。

○委員 はい。沖縄の12人というのは、これは単年度だけのことであって、平均的にしたら、もっと多いのでしょうか。たまたま今年だけが12人であったということなんでしょうか。ふだんの年はこうでもないということなんでしょうか。

○事務局 今年度の数字で、それ以前の増減は把握してないです。

○会長 ありがとうございます。前年度ぐらいの推移もあれば余計分かりやすいのかな。それはまた検討してください。どうぞ。

○委員 施策25、70ページ、主要指標についてです。廃棄物量の算出の仕方が分からぬので想像したのですが、1日当たり排出される廃棄物量とその下の町民1人当たりの廃棄物量をあえて二つ出しているはなぜかと思って、1日当たりは企業も含まれていて、下が家庭ごみかと思ったんですけど、計算すると単純に人口で割ってある気がして、もし可能であれば、企業のごみの量と家庭のごみの量を分けて書いてたほうが、計画を評価するときに、どちらに着目したらいいか今後の方針が考えやすいと思いました。

○会長 はい。ありがとうございます。廃棄物は一般廃棄物でしょう。企業の産業廃棄物じゃないですね。私のところは旅館ですけど、旅館の場合は廃棄物事業所のようで、お金は余計払うんですけど、一般廃棄物に入っています。ただ、工場とかなんとかは、多分、産業廃棄物とかでほかの業者の方と契約をされて廃棄されてるから、全部の廃棄物の量にはならないかもしれませんけど、一般廃棄物はいわゆる住民の方や小さい企業のところは入ってるかと思います。この辺はどうでしょうか。事務局。

○事務局 はい。こちらの指標は全て一般廃棄物ということで上がってきております。

○委員 どうするのがいいのか分からぬですが、取組方針1に「家庭や企業から出されるごみを減らすため」と書いてあるので、両方評価できるような指標がいいのかなという発想から考えています。でも、打ち出すのが難しいならば、せめて家庭ごみの量だけでもいいとは思いますが、あえて1日当たり排出される廃棄物量と単純に人口で割ったものを両方出す必要があるのかどうなのか、疑問を持ちました。

○会長 数字だけ見ても想像できないですよね。どのぐらいの量なのか、どれぐらいの重さなの

か。どれぐらい燃やしたらしいのかよく分からんんですけど、水分が多いごみは油なり何なりを使わないといけないから、大きな無駄だというのは何となく分かりますけども、量的には全然分からんですね。この辺は、一般町民として考えてもらうには、このくらいごみの量を抑えるとこのくらい税金が助かりますよ、みたいなものがあるといいのかもしれません。そこは研究項目として残しましょうか。皆さんどう思われますか。

○事務局 事務局から一点よろしいですか。この主要指標の設定というのは、なかなか難しい現状がありまして、ここに至るまで、我々からもこういった指標はできないか、こういったものがないか、というようなことを何回か重ねてきておりますけれども、データがないと設定ができないという実情があります。その中で、主要指標なので、なるべくこの施策に沿って、どういった効果があらわれている状況なのか、なるべく考えて出してくださいとしております。いただいたご意見は、おっしゃるとおりだと、すごく思うところがありますので、再度担当課に働きかけて行っていきたいと思っております。ただ、そういう中で、現実的にデータがないというところは出てきてしまうと思うので、そこは極力頑張っていくというところで調整してみようと思います。また、ここには出てきてないデータで、紙面の都合とか優先順位を考えて、担当課として持っているデータ、把握できていることとか、そういったところもあると思います。必ずこれらの指標でしか評価ができないというわけではないのかなと思いますので、仕事を進めていく上で様々持っているデータを活用しながら、トータルで見ていくんだということになろうかと思います。まずは、いただいたご意見を担当課にフィードバックして、できるところは検討したいと思います。

○会長 生ごみ出しませんという運動があったじゃない。去年か一昨年か、例えば、生ごみが普通に出たときと運動以降では、燃焼に使う油がこれだけ減りましたとか、具体的なものがあると行政ばかりでなくて町民も見るので、励みになるのかなと思いますが、とってあればいいけど、ごみはいちいち分からないし、ただ油の量はある程度分かるんじゃないかなと思うので。

○事務局 生ごみは最近の取組なので何かあったかもしれません。そこも一緒に。

○会長 あれだけ騒いでいるので、生ごみ出しません運動に加わる人が増えてくれたらいいと思うので、そういう指標があったら出してほしいなと思います。はい、どうぞ。

○委員 全体の話になるんですけども、一つ一つ関連計画があるものを書いてあると思うんですけど、スペースが許す限り、各計画がどういった計画なのか、一言ずつでも説明があるとうれしいなと思います。計画の名称を見れば何となく分かるんですけど、結局どういう計画で何を進めてるのか、素人では分かりにくいので、その辺りの説明があるとうれしいです。

○委員 施策26、防犯のことです。指標の中で、防犯カメラが都会とか田舎関係なく意外と設置を進められてると思うんですけど、学校現場でも今当然のように、何台かずつ各学校が設置しているという現状がありまして、小学校・中学校の設置数を入れられて、防犯カメラという言葉が出てくると、保護者の皆さんも安心されるのではないかなと思います。文章の中には具体的に防犯カメラという言葉は出てきませんので、この指標の中でもいいですし、入れていただけたら分かりやすいかなと思います。

○会長 はい、ありがとうございます。防犯カメラを備えるというか、抑制に大きい力があると思うので、データがあればうれしいですね。施策については、一応終わりましたので、計画推進のためにを審議します。これについて事務局から説明をお願いします。

○事務局 はい。失礼します。そうしますと、最後、計画推進のためにということで、考え方1から5を用意しております、ご説明させていただきます。

(基本計画案資料に沿って説明)

○会長 情報発信も必要なんですけども、誰も今携帯持ってるから電話だと思うんですけど、せっかくラインがあるので動画でも写真でも送ってもらえると思うんで、そういう呼びかけもあったほうがいいのかなと思いました。行政側からの情報ですので、行政からの働きかけや情報はあるんですけども、身近な情報が集まるようにしておいたほうがいいのかなと思ったところです。ラインで大山町ラインに投稿できますよね。

○事務局 防災行政無線の内容や自主組織のイベントなど、チラシをラインで発信しまして双方向ではないです。

○会長 双方向ではないならラインを入れても無駄ですか。

○事務局 投稿されても他の人は見れないというか、投稿できないようになっています。

○会長 デジタル社会だから有効な情報を集める仕掛けもあったほうがいいかと思うんですよね。行政ならではの的確なアドバイスもあると思うんで、あるといいのかなと思っておりました。テレビ局みたいに動画が送れる感じの大山町のアプリケーションを作ったらいいと思います。

○事務局 今アプリケーションもいろいろありますて、集落でチラシを交換できたりするような行政主導のアプリもあるらしいんですけど、検討はしていますが値段が高いというのと、ラインと、防災無線もコスマキャストというアプリがあって、後から防災無線が音声で聞こえるというアプリを導入しています。あと、子育てナビとかコドモンとか、大山町も様々なアプリがあって、集約をさせたいと思ってるんですけど、まだそこまで検討に至ってないです。

○委員 考え方の4について、すごくボリューミーで細かく書いてくださってとてもいいなと思いつつ、立案については、かなり細かく書いてあるんですけど、結局今回もほしかったデータがないということが多々あったと思うんです。なので、行ったものに対してきちんと調査をして、評価をして、それを次に活かしていくということを、どこかに入れていただきたいなと思います。それが次回の総合計画をつくるときに、データとして生かせるようになっていったらいいなと思いますので、ぜひお願いします。

○会長 ごもっともです。必要なことだと思います。どういうことになったかは、やっぱり知りたいですよね。計画推進のためには、一通り終わりましたけども、そのほかあればお願ひしたいと思うんですが、以上ですね。そうしたら、第4回、大変お忙しいところご苦労さまでした。

次第4 その他

(事務局から事務連絡)

次第5 閉会

午後3時45分閉会